



## 個性が輝ける社会に

富岡 水

高層ビルが立ち並び交通量が多く賑わっている街中。私は4年前にタイ北部チェンライに訪れましたが、首都バンコクは農村部よりはるかに発展していました。そんなバンコクでの研修で私の中で一番心に残っている訪問先はAPCDです。この施設では活動のひとつとして、障害者の方がベーカリーやホテルなどで働けるようになるための研修を行っていました。3ヶ月の研修を終え仕事をできるようになった職員の方は自分の仕事に誇りを持って働いていました。実際に働いているところを目にしましたが、私は彼らは本当に障害者であるのかと疑ってしまいました。それほど丁寧な接客であったし、各々が自分の役割を全うしていたからです。いきいきとした顔で楽しそうに働いている姿がとても印象に残っています。

施設内の見学をする前に障害とは何か、またインクルージョン(包摂)という考え方についてお話を聞きました。見学前の私が思う障害とは「日常生活に支障をきたすもの」でした。しかし職員の方のお話を聞き見学を終えたあとこれは「個性」であると思いました。これは人間一人一人が持つ個性と何ら変わらないのではないのでしょうか。そして包摂は仲間はずれとされる人がいなくてみんなが自分らしくいられることであると思いました。

自分が持っていたイメージが覆され、新たな考えを知った研修。まだまだ広い自分の知らない世界について今後も学びを深めていきたいです。